

環境経営レポート

対象期間

2023 年 4 月～2024 年 3 月

承認	確認	作成
三宅	山本	山本
代表者	環境管理 責任者	環境事務局

アサヒ金属株式会社

2024 年 5 月 25 日作成

環境活動レポート

目次

- 1 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 頁
- 2 会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 頁
- 3 環境負荷実績と環境経営目標・・・・・・・・・・ 4 頁
- 4 環境経営取組結果の評価と次年度の取組内容・・・・・・・・ 5 頁
- 5 環境関連法規等の遵守状況の確認及び、評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無・・・・・・・・・・ 9 頁
- 6 代表者による全体の評価と見直し記録・・・・・・・・ 10 頁

1. 環境経営方針

アサヒ金属株式会社

環境方針

アサヒ金属株式会社は、環境基本法を遵守すると共に事業活動における環境保全の継続的改善と、社会への貢献をするためここに環境方針を定める。

1. 当社の事業活動が環境に与える影響を的確にとらえ、環境負荷低減を遂行するために仕組み・組織体制を整備し実行する。
2. 環境負荷低減の継続的な改善を図り、汚染防止を推進する。
3. 環境関連の国内法・条例・協定を遵守する。
4. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減と廃棄物の減量化・リサイクルと排水量抑制を推進する。
5. この環境方針のもとで環境負荷の低減目標を定め、環境保全活動を推進する。
環境目標は定期的に見直しを行う。
6. この環境方針を円滑かつ効率よく達成するため社内規定を整備すると共に従業員への環境に対する意識付けの教育を行う。
7. これまでの受身からの脱却
8. 環境を通じて会社利益を生む。

— この環境方針は、社外の人にも公開します。 —

2010年 8月 1日

アサヒ金属株式会社

代表取締役

佐々木 孝三



2. 会社概要

(1) 事業者名

アサヒ金属株式会社

代表取締役 三宅 一彦

(2) 所在地

本社 岡山県都窪郡早島町矢尾 802

瀬戸内営業所 岡山県瀬戸内市邑久町向山 110-1

丸亀営業所 香川県丸亀市土器町北 2 丁目 115

松山営業所 愛媛県松山市久米窪田町 169-1

鳥取営業所 鳥取県鳥取市千代水 2 丁目 115

米子営業所 鳥取県米子市大篠津町 3320

倉吉出張所 鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留 145-2

姫路営業所 兵庫県姫路市白浜町宇佐崎中 1 丁目 25

豊岡営業所 兵庫県豊岡市神美台 157-31

広島営業所 広島県広島市佐伯区五日市町上河内 538-1

鳥栖営業所 佐賀県鳥栖市真木町赤江 1113 番地

越谷営業所 埼玉県越谷市花田 1 丁目 15 番 16 号

藤田工場 岡山県岡山市南区藤田 566-207

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者/担当 総務部部长 山本 浩

連絡先 電話 086-292-3007 FAX 086-292-5728

電子メール kikaku@asahi-metal.co.jp

(4) 事業規模

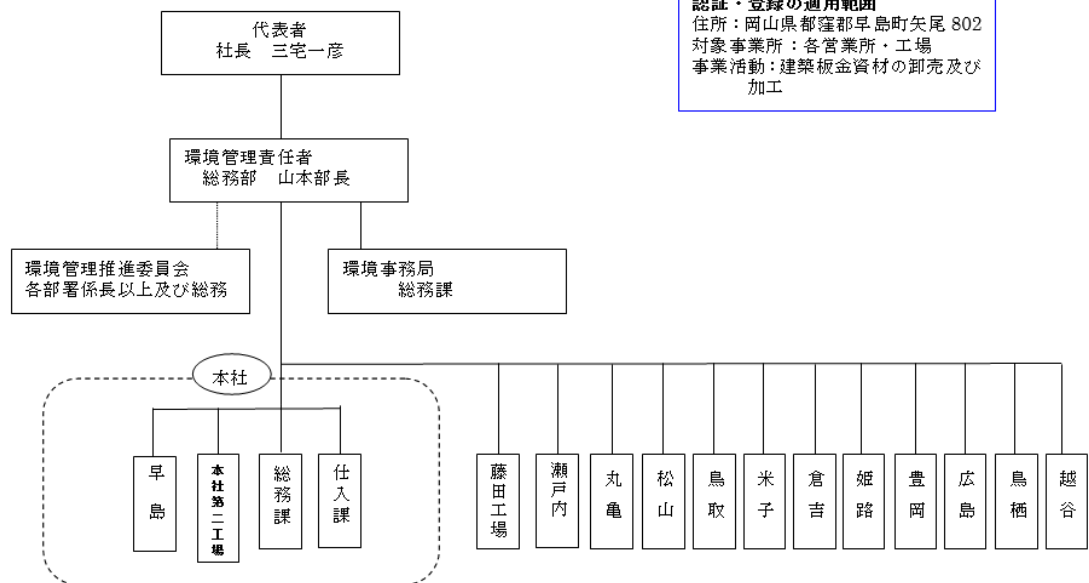
資本金 3 億円

事業内容 建築板金資材の卸売及び加工

従業員数 83 名

本社	18 人	倉吉	3 人
瀬戸内	22 人	姫路	3 人
丸亀	3 人	豊岡	5 人
松山	5 人	広島	3 人
鳥取	8 人	鳥栖	3 人
米子	6 人	越谷	4 人
藤田	常駐は 0 人		

アサヒ金属株式会社 環境経営システム組織図



認証・登録の適用範囲

住所：岡山県都窪郡早島町矢尾 802
対象事業所：各営業所・工場
事業活動：建築板金資材の卸売及び加工

	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンス明確化 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長・所属長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境負荷実績と環境経営目標

3.1 環境負荷実績

(年度：4月～翌年3月)

項目		2022 年	2023 年
二酸化炭素排出量	総排出量 (kg-CO2)	517,868	484,098
	電力 (kwh)	501,411	485,044
	ガソリン (L)	26,068	20,003
	軽油 (L)	71,150	67,529
	灯油 (L)	1,559	815
一般廃棄物排出量 (kg)		3,311	3,910
産業廃棄物排出量 (kg)		25,286	68,711
水使用量 (m³)		952	941
化学物質購入量 (kg)		682	482

※電力の二酸化炭素排出量換算値

部署	電力会社	調整後排出 係数 kg-CO2	電力使用量 Kwh	二酸化炭素排出量 Kg-co2
本社	中国	0.561	117,006	65,640
瀬戸内	中国	0.561	254,823	142,956
藤田	中国	0.561	6,229	2,744
丸亀	四国	0.382	7,184	2,871
松山	四国	0.382	7,329	2,800
鳥取	中国	0.561	22,996	12,901
米子	中国	0.561	17,916	10,051
倉吉	中国	0.561	3,726	2,090
姫路	関西	0.340	6,112	2,078
豊岡	関西	0.340	20,007	6,802
広島	中国	0.561	5,011	2,811
鳥栖	九州	0.344	11,652	4,008
越谷	東京	0.457	5,053	2,309
合計			485,044	260,061

※電力の CO2 発生量については電力事業者別の CO2 排出係数（H30 年 12 月 1 日公表）の調整後排出係数を使用する

3.2 環境経営目標

区分	項目	基準年	目標		
		2022 年	2023 年	2024 年	2025 年
二酸化炭素 排出量	総排出量の削減 (kg-CO2)	517,868	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			512,690	507,511	502,333
	電力の削減 (kwh)	501,411	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			496,397	491,383	486,369
	ガソリンの削減 (L)	26,068	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			25,807	25,546	25,286
	軽油の削減 (L)	71,150	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			70,439	69,727	69,016
	灯油の削減 (L)	1,559	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			1,543	1,528	1, 512
一般廃棄物の削減 (kg)	3,311	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%	
		3,278	3,245	3,212	
産業廃棄物の削減 (kg)	25,286	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%	
		25,033	24,780	24,527	
水使用量 (m³)	952	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%	
		942	933	923	
製品加工のロスミス削減 (kg)	金属クズ 78,440	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%	
		77,656	76,871	76,087	
化学物質の適切な管理	管理状況の 確認	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認	
	1 回/四半 期	1 回/四半期	1 回/四半期	1 回/四半期	

4.環境経営取組結果の評価と次年度の取組内容

4-1 環境経営目標と取組実績（2023 年度）

項目	基準年実績	目標値	実績	達成度	評価
CO2 排出量削減	517,868kg-CO2	512,690kg-CO2	484,098g-CO2	105.9%	○
電力使用量	501,411kwh	496,397kwh	485,044kwh	102.3%	○
ガソリン使用量	26,068L	25,807L	20,003L	129.0%	○
軽油使用量	71,150L	70,439L	67,529L	104.3%	○
灯油使用量	1,559L	1,543L	815L	189.3%	○
(主な活動内容)					
・ LED 化の推進（電力）					
・ エコドライブ（アイドリングストップ等）の推進（ガソリン）					
・ 配達効率向上（ガソリン、軽油）					
・ エコカー買換え（ガソリン、軽油）					
・ 未使用時の消灯および電源切/昼休の消灯徹底（電力）					
・ 空調機については、フィルターの定期的な清掃（電力）					
(評価結果)					
結果：CO2 発生量については目標達成。すべての項目で、目標値を達成できた。					
評価： ・ 電力/LED 化については費用のこともあり大半が改修なので引続き検討する。					
不使用時電源 OFF はたまに点いていることがあり、まだ不十分					
・ ガソリン、軽油、灯油/エコドライブについてはまだ不十分なところがある。					
配送効率の向上については社員同士が意識し、段取り打合せをしながら、効率よく対応					
できた。					
燃費の良い車両への入れ替えの検討が必要。					
(次年度の取組内容)					
・ エコドライブ（アイドリングストップ等）の推進					
・ 配達効率向上					
・ LED 化					
・ 低燃費車への買換え					

項目	基準年実績	目標値	実績	達成度	評価
一般廃棄物の削減	3,311kg	3,278kg	3,910kg	83.8%	×
産業廃棄物の削減	25,286kg	25,033kg	68,711kg	36.4%	×
(主な活動内容)					
・ ゴミの分別収集の徹底、継続（一般廃棄物、産業廃棄物）					
・ 梱包材の再利用（産業廃棄物）					
・ 資源ゴミのリサイクル推進（産業廃棄物）					
・ コピー用紙裏紙再利用（一般廃棄物）					
・ 試し折の削減（産業廃棄物）					
(評価結果)					
結果：一般ゴミ、産廃ゴミともに目標未達成。					
評価：分別収集・コピー用紙裏紙再利用の活動は出来ていた。梱包材再利用と資源ゴミのリサイクル推進についての活動は具体的な取組を検討する必要がある。					
一般廃棄物は、排出量（可燃、不燃ごみ）増により、目標未達成となっている。					
産業廃棄物は、不良在庫処分をしたこともあり、繊維くず以外は目標未達成となっている。					
(次年度の取組内容)					
・ ゴミの分別収集の徹底、継続					
・ ペーパーレス推進					
・ 資源ゴミのリサイクル推進					
・ 試し折の削減					

項目	基準年実績	目標値	実績	達成度	評価
水使用量	952 m ³	942 m ³	941 m ³	100.1%	○
(主な活動内容)					
・ 節水の呼び掛け					
・ 水道圧を抑え節水					
・ 手洗等の水出しっぱなし無きよう指導徹底					
(評価結果)					
結果：目標は達成している。					
評価：取組については日常的にできている。					
引き続き、節水を意識した行動をする。					
(次年度の取組内容)					
・ 節水の徹底					
・ 漏水点検					

項目	基準年実績	目標値	実績	達成度	評価
製品加工のロスミス削減（金属クズ削減）	78,440kg	77,656kg	78,600kg	98.8%	×
（主な活動内容）					
・ロスミスの撲滅					
・試し折の削減					
・環境に配慮した原材料、副資材使用推進					
（評価結果）					
結果：通年分をまとめて廃棄処理したため目標未達成。それを除けばほぼ達成。					
評価：ロスミス発生時に早急に対応し機械メンテ等を行った。					
今後も作業員による削減意識を向上させ、ロスミス発生時に対策を随時検討。					
機械の保守や更新についても随時検討する。					
（次年度の取組内容）					
・ロスミスの撲滅					
・試し折の削減					
・環境に配慮した原材料、副資材使用推進					
・機械の保守/更新					

項目	
化学物質の適切な管理	管理状況の確認
（主な活動内容）	
四半期ごと SDS による管理状況の確認	
（評価結果）	
評価：適正に SDS 及び実績値の管理が行われている	
（次年度の取組内容）	
・引き続き管理状況の確認をおこなう	

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反の指摘は、過去3年間ありません。

法規制等の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目	関連部門	順守評価
				判定
廃棄物処理法	・収集業者の許可証確認(写し保管)	一般廃棄物(紙くず, 木くず)	管理	○
	・保管基準 60cm×60cm 以上表示 飛散・浸透防止、衛生管理 ・収集運搬・処理業者との契約 ・マニフェスト交付、報告書の作成及び提出 ・自社による運搬時の表示、書類携行	産業廃棄物(廃プラ、廃油)	本社 瀬戸内	○
騒音規制法	・特定施設の届出 油圧プレス、機械プレス、空気圧縮機などの特定施設 ・規制基準の遵守	・油圧プレス 1台 ・せん断機 1台	本社	○
振動規制法	・特定施設の届出 油圧プレス、機械プレス、空気圧縮機などの特定施設 ・規制基準の遵守	・油圧プレス 1台 ・機械プレス 2台 ・せん断機 1台	本社	○
化学物質管理促進法	・排出量等の把握及び届出 特定化学物質(質量1トン以上、従業員21名以上)(※事業所ごと)	トルエン(接着剤)	本社	○
浄化槽法	・年1回法定検査(水質検査)実施 ・定期的に、保守点検、清掃を実施	浄化槽	瀬戸内	○
フロン排出抑制法	・第一種特定製品の簡易点検	業務用エアコン	本社 瀬戸内	○

6. 代表者による全体の評価と見直し記録

(総括)

CO2 排出量削減・水使用量については目標達成できたが売上減少影響によるものが多い。

一般廃棄物排出量については、可燃・不燃ごみの増により目標未達成。産業廃棄物排出量については、突発的な要素（不良在庫廃棄等）があり、繊維くず以外は目標未達成となった。

活動については、おおむね出来ているが、今後は、経営とリンクした取組を行っていく必要がある。

また昨年と同じく、費用が発生するがハード面（LED 化、車両入替等）の見直しも必要になってくる。

(次年度の方針)

1) 環境経営方針

- ・現状を継続する。

2) 環境経営目標及び活動計画

- ・活動内容について、より経営とリンクした内容を検討する。

3) 実施体制

活動実施のための仕組みづくりを検討する。

以上